



# 多様な働き方と創造力を融合させる コラボレーションデバイス

急速に普及したテレワーク、そして普及しつつあるハイブリッドワーク。

オフィスだけでなく、自宅、外出先、出張先など、働く場所を自由に選べる時代になっています。

その一方で多くの組織は、オンライン会議などのツールだけではカバーできない、

ビジネスコミュニケーションの低下などの課題に直面するようになりました。

そこでシスコは、従来のビデオ会議専用デバイスを刷新。

新しいビジネスアイデアが生まれるプラットフォームとしても機能する、コラボレーションデバイスを提供します。



**見る**

顔を認識して  
自動フレーミング



**聞く**

ノイズを軽減  
翻訳を含む字幕でもサポート



**伝える**

AirPlay、Miracast に対応  
Slido、ホワイトボードなど  
さまざまなアプリと連携



**つながる**

USB でかんたん接続  
Zoom や Microsoft Teams など  
さまざまな Web 会議につながる



**使いやすい**

ワンボタンで会議に参加  
AI が操作をアシスト



**選べる**

多様な利用シーンに応える  
デバイスラインアップ

# コラボレーションデバイスで、いつものデスクをコラボ空間化

## 主要なオンライン会議サービスに簡単に参加、かんたん活用できる

- 課題**
- 高品質なオンライン会議を実施したい
  - 誰でも簡単に操作できる機器を導入したい
  - どのオンライン会議サービスでも使える機器がほしい

コラボレーション専用機ならではの高品質な映像と音声、直感的に操作できるユーザーインターフェイスによって、快適なオンライン会議が可能です。さらにカレンダー連携やカスタマイズ可能なボタン、USB パススルー機能によって、Webex に限らず、Microsoft Teams や Zoom、Google Meet など、主要なオンライン会議サービスに簡単に参加することができます。

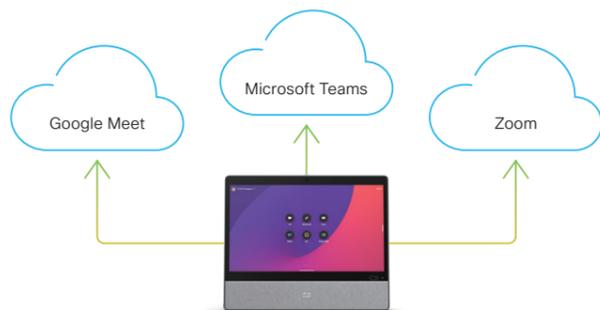


カレンダー連携やカスタマイズ可能なボタン (画面例は Google Meet) で主要なオンライン会議サービスに簡単に参加可能



USB 接続で PC のセカンドディスプレイとして利用できるだけでなく、PC の外部カメラ / マイク / スピーカーとしても利用可能

\*1 一部のモデルはビデオ出力に HDMI ケーブルが必要。



WebRTC や Webex VIMT などのテクノロジーによって主要なオンライン会議サービスとの相互接続をサポート

## オフィスのオープンスペースや自宅のリビングなど、プライベートな空間でなくても安心して利用できる

- 課題**
- 場所を選ばず、手軽に会議を始めたい
  - 同僚や家族の映り込みを避けたい
  - ヘッドセットを使わずに会話したい

ちょっとした打ち合わせのたびに、会議室や自宅の仕事部屋に移動するのは面倒ではありませんか？ プライバシーやセキュリティに配慮して設計されたコラボレーションデバイスなら、オフィスのオープンスペースや自宅のリビングなど、非プライベートな空間でも安心して利用できます。



プライベートなデスクに限らず、さまざまな場所で手軽に会議  
ハンドル付きの Desk Mini なら持ち運びもらくらく



コラボレーション専用機ならではのパワフルな映像処理でパフォーマンス低下を心配せずに仮想背景やぼかし背景を利用可能



騒がしい環境でも周囲の雑音を拾いにくい設計 (指向性マイク内蔵)、さらにタイピング音や紙の擦れ音など、マイクが拾った雑音を信号処理で軽減

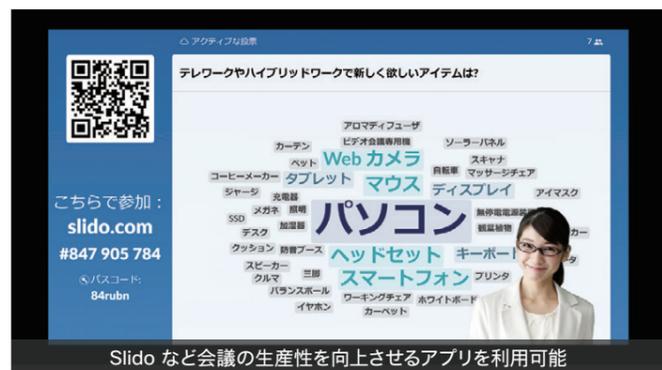
## インタラクティブなアプリや機能で、リアルな会議よりも生産性をアップできる

- 課題**
- リアルな会議と同じようにホワイトボードを使いたい
  - 会議の生産性を向上させたい
  - 会議コミュニケーションを活性化したい

一方通行になりがちなオンライン会議でも、コラボレーションデバイスなら大丈夫。リアルな会議と同じようにホワイトボードで表現や意見交換ができるだけでなく、インタラクティブな Q&A と投票を実現する Slido のようにオンライン会議ならではのアプリを活用することで、会議の生産性が向上します。



指またはスタイラスペンで自在に描けるタッチスクリーン搭載 (Desk シリーズおよび Board シリーズ)



Slido など会議の生産性を向上させるアプリを利用可能



AI によるジェスチャ認識もサポートするリアクション機能

## オンライン会議だけでなく、さまざまな用途に活用できる

- 課題**
- 受付を無人化したい
  - 対面サービスをリモート化したい
  - フリーアドレス環境をスマート化したい

オンラインイベントやオンライン授業だけでなく、たとえば発熱外来での無人受付システム、行政機関や金融機関でのリモート相談システムなど、さまざまな導入事例があります。また、デスク用デバイスならではの活用方法として、デバイスの簡易予約機能を活かした座席管理も可能です。



無人受付システムとしての設置例



リモート相談システムとしての設置例



フリーアドレス環境でのホットデスクing (座席管理) をスマート化  
PC やスマートフォンで簡単に座席の予約が可能

# コラボレーションデバイスで、会議室をスマート化

## 既存のディスプレイとネットワークにつなぐだけで、会議室をオンライン化できる

- 課題**
- 既存の設備や環境を流用したい
  - 会議相手の画面とプレゼンテーション画面を使い分けたい
  - リアルな会議にも活用できる機器を導入したい

既存のディスプレイとネットワークに接続するだけで簡単に会議室をオンライン化できます。複数のディスプレイを活用して、会議相手とプレゼンテーション（画面共有）を別個に表示するなど、臨場感と実用性を兼ね備えたオンライン会議も可能です。会議室に PC を持ち込んで USB で接続、手軽に他社のオンライン会議サービスで使用したり、リアルな会議で画面を共有したりすることも可能。画面共有はケーブルを接続する手間いらずの Wi-Fi 経由でもサポートします。



USB 接続で PC のセカンドディスプレイとして利用できるだけでなく、PC の外部カメラ / マイク / スピーカーとしても利用可能

\*1 一部のモデルはビデオ出力に HDMI ケーブルが必要。

## 予約システム、デジタルサイネージ、環境センサーなど、先進的な機能を会議室に導入できる

- 課題**
- 会議室の予約システムを導入したい
  - 会議室（機器）の空き時間も有効に利用したい
  - 環境センサーも併せて導入したい

会議室の簡易予約システムを利用可能、さらにサードパーティのソリューションと連携した高度な予約システムの構築も可能です。また、デバイスの空き時間にはお好みの Web コンテンツを表示して、デジタルサイネージとして活用することもできます。さらにコラボレーションデバイスは、人感センサーや騒音センサーなどの会議に役立つさまざまなセンサーを搭載していますが、一部のモデルは温度や湿度、空気質などの環境センサーも搭載。IoT センサーを個別に導入することなく、快適な会議室空間を確保できます。



会議室用デバイスはタッチパネルコントローラで操作が可能  
さらに会議室の予約や、空調や調光などの会議室設備のコントロールもサポート

\*1 Room USB を除く Room シリーズに付属、Board シリーズではオプション。



## 音声操作、自動フレーミング、自動ノイズ除去など、AI を駆使した機能で快適に会議ができる

- 課題**
- 誰でも簡単に操作できる機器を導入したい
  - カメラの操作を自動化したい
  - 雑音を気にせず会議がしたい

AI を駆使した豊富な機能で快適な会議を実現します。AI による音声認識機能は音声での操作をサポート、操作に不慣れなユーザーでもタッチレスで快適かつ安全な操作が可能です。AI による顔認識機能や発話者認識機能と連動した自動フレーミングやカメラワークが常に最適な映像を会議相手に届けるとともに、AI が学習した範囲外の不要な映像は会議相手に届けません。また、専用設計の指向性マイクと AI による自動ノイズ除去機能の組み合わせは、雑音も会議相手に届けません。



\*1 2024 年 3 月現在、Room Kit EQ および Room Kit EQX が対応。2 × PTZ 4K カメラ、3 × Table Microphone Pro、AV インテグレート ライセンスが必要。

## ホワイトボードもスマート化できる、さらにオンライン会議ならではの多言語対応機能も利用できる

- 課題**
- ホワイトボードそのものをスマート化したい
  - 英語の発言を翻訳して字幕で表示させたい
  - 通訳者の音声に最適化したい

既存のディスプレイを有効活用する導入形態だけでなく、会議室のホワイトボードそのものをスマート化する導入形態も可能です。さらにオンライン会議ならではの多言語対応機能も利用可能。会議相手の英語の発言をリアルタイムで日本語に翻訳して字幕表示できます。通訳者が参加する会議では、通訳者専用の音声チャンネルを選択して適切な音量に調整できるなど、オリジナルの音声とのバランスがとれたクリアな聴き取りをサポートします。

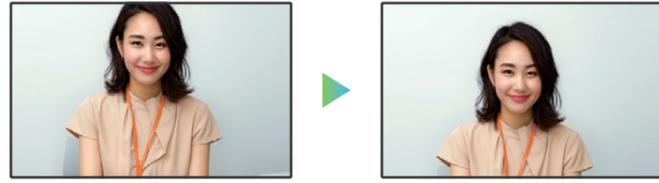


# 「ちょい足し」デバイスで、ワンランク上のオンライン会議を実現

## 高性能 Web カメラで、PC でのオンライン会議をグレードアップ

- 課題**
- PC のカメラを手軽に高画質化したい
  - PC のマイクを手軽に高音質化したい
  - 会議に限らず、幅広い用途に活用できるカメラを導入したい

お使いの PC に Cisco Desk Camera を追加すれば、オンライン会議のかんたんグレードアップが可能です。USB ケーブルで接続すれば、カメラとマイクを PC が自動認識。顔認識機能と連動した自動フレーミング、指向性マイクとノイズ除去機能の組み合わせなど、ビデオ会議専用デバイスライクな機能をすぐに利用できます。市販の卓上三脚に固定すれば、オンライン会議以外の幅広い用途にも活用できます。



オートフォーカスや自動ホワイトバランス、さらに顔認識機能と連動した自動フレーミングをサポート

ノイズを軽減するデュアル指向性マイク搭載



一般的な PC 内蔵カメラ (約 60°) よりも広い 81° または 83° の水平視野角<sup>\*1</sup>。ホワイトボードや黒板の広角撮影も OK

<sup>\*1</sup> Desk Camera 4K は 81°、Desk Camera 1080p は 83°。



市販の卓上三脚にも固定可能

## 高性能ヘッドセットで、場所を選ばず最適なサウンド体験を実現

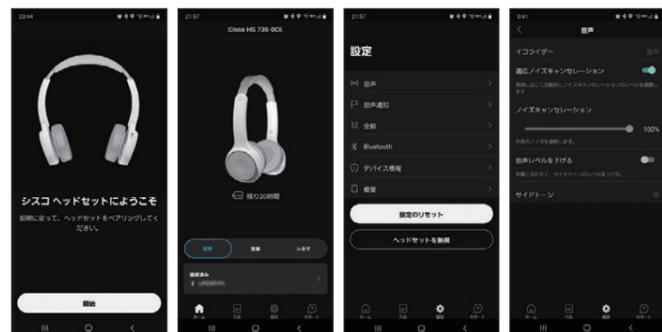
- 課題**
- オンライン会議の臨場感を高めたい
  - 会議相手にクリアな音声を届けたい
  - 業務形態に合わせて適切なヘッドセットを選びたい

自宅、外出先、そしてオフィスにおける幅広い業務形態に対応するラインアップでヘッドセットを提供します。ハイエンドモデルの Cisco Headset 730 シリーズと Bang & Olufsen Cisco Headset 900 シリーズ (950/980) は、Bluetooth ワイヤレス接続とアクティブ ノイズキャンセリングに対応。オンライン会議はもちろん、プライベートな映画鑑賞や音楽鑑賞など、さまざまな利用シーンで最高のサウンド体験を実現します。Bang & Olufsen Cisco 950 は、軽量で快適に装着できるインナーイヤー型のヘッドセット (イヤホン) です。



ユーザー周囲の音を逆相の音で打ち消すノイズキャンセリングモード、正位相で増幅するアンビエントモードに対応 (Headset 730 & 950/980)<sup>\*1</sup>

<sup>\*1</sup> Bang & Olufsen Cisco 950 はボタンのタップで切り替え可能。



スマートフォンのアプリで設定可能 (Headset 730 & 950/980)<sup>\*1</sup>

<sup>\*1</sup> Bang & Olufsen Cisco 950 のアプリは Bang & Olufsen 社が提供。



持ち運びに便利なトラベルケースが付属 (Headset 730 & 980)<sup>\*1</sup>

<sup>\*1</sup> Bang & Olufsen Cisco 950 には充電ケースが付属。

# クラウドで簡単らくらく一元管理

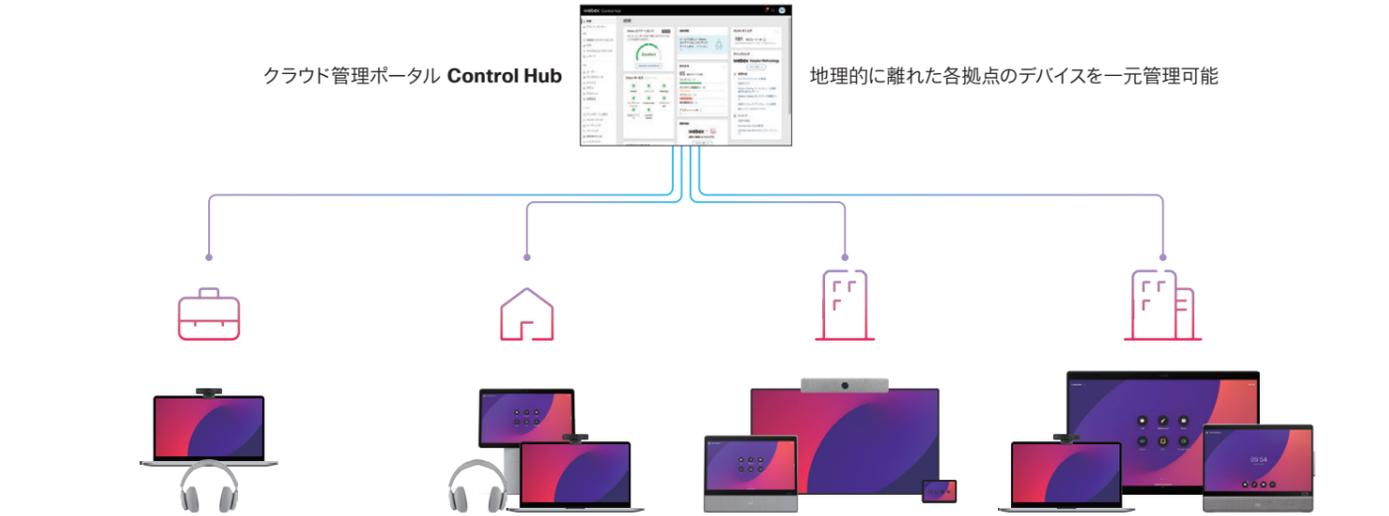
## クラウド管理ポータルで、本社や拠点など場所を問わず、デバイスとワークプレイスを一元管理できる

- 課題**
- 設置場所に行かずに機器を設定管理したい
  - 機器だけでなく、会議室も管理したい
  - トラブルに迅速に対応および解決したい
  - 機器や会議室の使用状況を分析して最適化したい

コラボレーションデバイスは、クラウド管理ポータル Control Hub で一元管理できます。本社、支社、従業員の自宅など、場所を問わず全デバイスを管理対象として、使用状況の分析やトラブルシューティングも可能です。

さらに、あらかじめ設定した利用人数を超えたらデバイスの画面にアラートを表示する、空予約を自動的にキャンセルする、デバイスに搭載した環境センサーで収集した室温データや空気質データを分析するなど、デバイスの設置場所 (ワークプレイス) も管理できます。

Control Hub は、会議や電話などの Webex サービスやユーザーも含めた、Webex の統合管理ポータルとして機能します。



クラウド管理ポータル Control Hub

地理的に離れた各拠点のデバイスを一元管理可能



デバイス設定管理画面

各拠点のデバイスを一覧表示してステータスをひと目で確認できるだけでなく、各デバイスのソフトウェアやアラート、設定などをきめ細やかに管理可能



ワークスペース設定管理画面

デバイスを設置したデスクや会議室などを「ワークスペース」として定義して、定員や定員超過のアラート、スケジュール方法などを設定可能



トラブルシューティング画面

現在進行中および過去の会議の品質など詳細な情報を把握できるため、問題が発生した場合の迅速な対応や解決が可能



ワークスペース使用状況分析画面

使用人数や使用時間、環境センサーで収集した室温データや空気質データなど、ワークスペースの使用状況や環境を分析して改善が可能

# コラボレーションデバイス仕様比較

## Cisco Desk シリーズ<sup>\*1</sup>

モデル 製品型番 <sup>*2</sup>	会議 参加者 推奨数	ディスプレイ	ビデオ会議 品質	カメラ	自動フレーミング		ネットワーク		USB バス スルー	タッチパネル コントローラ	マウント	ネイティブ MS Teams
					顔認識	発話者 認識	1GE RJ45	Wi-Fi				
<b>Desk Mini</b> CS-DESKMINI-K9 CS-DESKMINI-C-K9	1	15.6 インチ タッチ <sup>*3</sup> ディスプレイ	1080p60	8 MP 水平視野角 64° 垂直視野角 50°	✓		✓	4/5	✓ <sup>*7</sup>		卓上	
<b>Desk</b> CS-DESK-K9 CS-DESK-C-K9	1	24 インチ タッチ <sup>*3</sup> ディスプレイ	1080p30	8 MP 水平視野角 64° 垂直視野角 50°	✓		✓	4/5	✓ <sup>*7</sup>		卓上 壁掛け <sup>*8</sup>	
<b>Desk Pro</b> CS-DESKPRO-K9	1~2	27 インチ 4K タッチ <sup>*4</sup> ディスプレイ <sup>*5</sup>	1080p60 <sup>*6</sup>	4K (12 MP) 水平視野角 71° 垂直視野角 59°	✓		✓	4/5	✓ <sup>*7</sup>		卓上 壁掛け <sup>*8</sup>	✓

\*1 対応コーデックなど仕様詳細はデータシートを参照。 \*2 「-C」製品型番はカーボンブラック色。 \*3 スタイラスペン別売。 \*4 スタイラスペン同梱。 \*5 4K デュアルディスプレイ対応。  
\*6 アウトバンドは 1080p30。 \*7 Windows 10 など対応 OS 搭載 PC からのタッチリダイレクトをサポート。 Desk Pro は 60 W USB 給電をサポート。 \*8 マウントキットが必要 (別売)。

## Cisco Room シリーズ<sup>\*1</sup>

モデル 製品型番 <sup>*2</sup>	会議 参加者 推奨数	ディスプレイ	ビデオ会議 品質	カメラ	自動フレーミング		ネットワーク		USB バス スルー	タッチパネル コントローラ	マウント	ネイティブ MS Teams
					顔認識	発話者 認識	1GE RJ45	Wi-Fi				
<b>Room USB</b> CS-ROOM-USB-K9	~5	4K シングル ディスプレイ 対応 (別売)	1080p30	4K (8 MP) 水平視野角 120° 垂直視野角 72° 5 × ズーム	✓		✓	4/5	✓		スクリーン <sup>*8</sup> 壁掛け	
<b>Room Kit Mini</b> CS-KIT-MINI-K9	~5	4K シングル ディスプレイ 対応 (別売)	1080p60	4K (8 MP) 水平視野角 120° 垂直視野角 72° 5 × ズーム	✓		✓	4/5	✓		スクリーン <sup>*8</sup> 壁掛け	
<b>Room Bar</b> CS-BAR-T-K9 CS-BAR-W-K9 CS-BAR-T-C-K9 CS-BAR-W-C-K9	~7	4K デュアル ディスプレイ 対応 (別売)	1080p30	12 MP 水平視野角 120° 垂直視野角 95° 5 × ズーム	✓	✓	✓	4/5	✓	✓ <sup>*7</sup>	スクリーン 壁掛け	✓
<b>Room Kit</b> CS-KIT-K9	~10	4K デュアル ディスプレイ 対応 (別売)	1080p60	5K (15.1 MP) 水平視野角 83° 垂直視野角 51.5° 3 × ズーム	✓	✓	✓	4/5	✓		スクリーン 壁掛け	
<b>Room Bar Pro</b> CS-BARPRO-K9 CS-BARPRO-C-K9	~12	4K トリプル ディスプレイ 対応 (別売)	1080p60	2 × 48 MP <sup>*3</sup> 水平視野角 112° / 70° 垂直視野角 94° / 55° 5 × ズーム	✓	✓	✓	6/6E	✓		スクリーン 壁掛け	✓
<b>Room Kit Plus PTZ 4K</b> CS-KITPLPTZ4K-K9		4K デュアル ディスプレイ 対応 (別売)	1080p60	4K 水平視野角 70° パン ±170° チルト -20 ~ +90° 240 × ズーム	✓		✓	4/5	✓		卓上 壁掛け <sup>*8</sup> 天井 <sup>*9</sup>	
<b>Room Kit Plus</b> CS-KITPLUS-K9	~16	4K デュアル ディスプレイ 対応 (別売)	1080p60	4 × 5K (20 MP) <sup>*4</sup> 水平視野角 83° / 50° 垂直視野角 51.5° 7.6 × ズーム	✓	✓	✓	4/5	✓		卓上 <sup>*10</sup> 壁掛け <sup>*11</sup>	
<b>Room Kit EQ PTZ 4K</b> CS-KITPLPTZ4K-K9		4K トリプル ディスプレイ 対応 (別売)	1080p60	4K 水平視野角 70° パン ±170° チルト -20 ~ +90° 240 × ズーム	✓		✓	6/6E	✓		卓上 壁掛け <sup>*8</sup> 天井 <sup>*9</sup>	
<b>Room Kit EQ</b> CS-KIT-EQ-K9 CS-KIT-EQ-C-K9	~16	4K トリプル ディスプレイ 対応 (別売)	1080p60	4 × 5K (20 MP) <sup>*4</sup> 水平視野角 83° / 50° 垂直視野角 51.5° 7.6 × ズーム	✓	✓	✓	6/6E	✓		卓上 <sup>*10</sup> 壁掛け <sup>*11</sup>	✓
<b>Room Kit Pro PTZ 4K</b> CS-KITPRO-PTZ4K-K9		4K トリプル ディスプレイ 対応 (別売)	1080p60	4K 水平視野角 70° パン ±170° チルト -20 ~ +90° 240 × ズーム	✓		✓	4/5	✓		卓上 壁掛け <sup>*8</sup> 天井 <sup>*9</sup> ラック マウント <sup>*8</sup> <sup>*10</sup>	
<b>Room Kit Pro</b> CS-KITPRO-K9	~16	4K トリプル ディスプレイ 対応 (別売)	1080p60	4 × 5K (20 MP) <sup>*4</sup> 水平視野角 83° / 50° 垂直視野角 51.5° 7.6 × ズーム	✓	✓	✓	4/5	✓		卓上 <sup>*10</sup> 壁掛け <sup>*11</sup> ラック マウント <sup>*8</sup> <sup>*10</sup>	✓
<b>Room Kit EQX</b> CS-KIT-EQX-C-K9	~16	65 ~ 75 インチ 4K トリプル ディスプレイ 対応 (別売)	1080p60	4 × 20 MP <sup>*4</sup> 水平視野角 83° / 50° 垂直視野角 51.5° 7.6 × ズーム	✓	✓	✓	6/6E	✓		壁掛け フロアスタンド <sup>*8</sup> 壁面スタンド <sup>*8</sup>	✓

\*1 対応コーデックなど仕様詳細はデータシートを参照。 \*2 「-C」製品型番はカメラがカーボンブラック色。 \*3 1 × 広角カメラ + 1 × 望遠カメラ。 \*4 1 × 広角カメラ + 3 × 望遠カメラ。  
\*5 アップグレードキット (CS-R-USB-UPG-BUN) で Room Kit Mini にアップグレード可能。 \*6 リモコン同梱。 \*7 CS-BAR-T-K9/CS-BAR-T-C-K9 は卓上版、CS-BAR-W-K9/CS-BAR-W-C-K9 は壁掛け版が同梱。  
\*8 マウントキットが必要 (別売)。 \*9 カメラのみ対応。 \*10 コーデックのみ対応。 \*11 マウントキットが必要 (コーデックのみ別売)。

## Cisco Board シリーズ<sup>\*1</sup>

モデル 製品型番	会議 参加者 推奨数	ディスプレイ	ビデオ会議 品質	カメラ	自動フレーミング		ネットワーク		USB バス スルー	タッチパネル コントローラ	マウント	ネイティブ MS Teams
					顔認識	発話者 認識	1GE RJ45	Wi-Fi				
<b>Board Pro 55</b> CS-BRD55P-K9	~10	55 インチ 4K タッチ <sup>*2</sup> ディスプレイ <sup>*3</sup>	1080p30	2 × 4K (12 MP) <sup>*4</sup> 水平視野角 85° / 120° 垂直視野角 64° / 90° 5 × ズーム	✓	✓	✓	4/5	✓ <sup>*5</sup>		壁掛け フロアスタンド <sup>*7</sup> 壁面スタンド <sup>*7</sup>	✓
<b>Board Pro 55 G2</b> CS-BRDP55-K9	~10	55 インチ 4K タッチ <sup>*2</sup> ディスプレイ <sup>*3</sup>	1080p30	2 × 4K (48 MP) <sup>*4</sup> 水平視野角 70° / 112° 垂直視野角 55° / 94° 5 × ズーム	✓	✓	✓	6/6E	✓ <sup>*5</sup>		壁掛け フロアスタンド <sup>*7</sup> 壁面スタンド <sup>*7</sup>	✓
<b>Board Pro 75</b> CS-BRD75P-K9	~10	75 インチ 4K タッチ <sup>*2</sup> ディスプレイ <sup>*3</sup>	1080p30	2 × 4K (12 MP) <sup>*4</sup> 水平視野角 85° / 120° 垂直視野角 64° / 90° 5 × ズーム	✓	✓	✓	4/5	✓ <sup>*5</sup>		壁掛け フロアスタンド <sup>*7</sup> 壁面スタンド <sup>*7</sup>	✓
<b>Board Pro 75 G2</b> CS-BRDP75-K9	~10	75 インチ 4K タッチ <sup>*2</sup> ディスプレイ <sup>*3</sup>	1080p30	2 × 4K (48 MP) <sup>*4</sup> 水平視野角 70° / 112° 垂直視野角 55° / 94° 5 × ズーム	✓	✓	✓	6/6E	✓ <sup>*5</sup>		壁掛け フロアスタンド <sup>*7</sup> 壁面スタンド <sup>*7</sup>	✓

\*1 対応コーデックなど仕様詳細はデータシートを参照。 \*2 スタイラスペン同梱。 \*3 4K デュアルディスプレイ対応。 \*4 1 × メインカメラ + 1 × 広角カメラ。  
\*5 Windows 10 など対応 OS 搭載 PC からのタッチリダイレクトをサポート。 \*6 Room Navigator (CS-T10-TS-G-K9/CS-T10-WM-G-K9) が必要 (別売)。 \*7 別売。

## Cisco Desk Cameras<sup>\*1</sup>

モデル 製品型番 <sup>*2</sup>	会議 参加者 推奨数	ディスプレイ	ビデオ会議 品質	カメラ	自動フレーミング		デュアル 指向性 マイク	IR センサー	プライバシー シャッター	マウント	MS Teams 認定
					自動 フォーカス	顔認識					
<b>Desk Camera 1080p</b> CD-DSKCAMD-C-WW	1	4K シングル ディスプレイ 対応 (別売)	1080p60 および 2160p30	フル HD (8 MP) 視野角 65/70/75/83° 4 × ズーム	✓		✓		✓	スクリーン 卓上 <sup>*3</sup>	
<b>Desk Camera 4K</b> CD-DSKCAM-C-WW CD-DSKCAM-P-WW	1	4K シングル ディスプレイ 対応 (別売)	1080p60 および 2160p30	4K (13 MP) 視野角 65/70/75/81° 10 × ズーム	✓	✓	✓	✓	✓	スクリーン 卓上 <sup>*3</sup>	✓

\*1 対応コーデックなど仕様詳細はデータシートを参照。 \*2 「-C」製品型番はカーボンブラック色。 \*3 市販の卓上三脚に固定可能。

## Cisco Headsets

製品型番	接続オプション					充電 スタンド 同梱	MS Teams 認定	製品型番	接続オプション					充電 スタンド (ケース) 同梱	MS Teams 認定	
	3.5 MJ	RJ9	USB -A	USB -C	Blue tooth				3.5 MJ	RJ9	USB -A	USB -C	Blue tooth			
320 シューズ			✓					720 シューズ			✓	✓				
	HS-W-321-C-RJ9			✓					HS-WL-721-BUNA-C			✓	✓			
	HS-W-321-C-USB			✓					HS-WL-721-BUNAS-C			✓	✓			
	HS-W-321-C-USBC				✓				HS-WL-721Q-BUNA-C			✓	✓			✓
	HS-W-321Q-C-USB			✓					HS-WL-722-BUNA-C			✓	✓			
520 シューズ			✓					730			✓	✓				
	HS-W-322-C-RJ9			✓					HS-WL-722-BUNAS-C			✓	✓			
	HS-W-322-C-USB				✓				HS-WL-722Q-BUNA-C			✓	✓			✓
	HS-W-322-C-USBC				✓				HS-WL-730-BUNA-P	✓		✓	✓			
	HS-W-322Q-C-USB			✓					HS-WL-730-BUNAS-P	✓		✓	✓			✓
530 シューズ			✓					950			✓	✓				
	CP-HS-W-521-USB=	✓		✓					HS-WL-730-BUNA-C	✓		✓	✓			
	CP-HS-W-521-USBC	✓			✓				HS-WL-730-BUNAS-C	✓		✓	✓			✓
	CP-HS-W-522-USB=	✓		✓					980			✓	✓			
	CP-HS-W-522-USBC	✓			✓					HS-WL-950-BUN-C				✓	✓	
			✓					980			✓	✓				
CP-HS-W-531-RJ=			✓				HS-WL-980-BUNA-L		✓		✓	✓				
CP-HS-W-531-USBA=				✓			HS-WL-980-BUNA-C		✓		✓	✓				
			✓								✓	✓				
			✓								✓	✓				
			✓								✓	✓				

# Microsoft Teams 認定デバイスとして導入可能

## シスコのコラボレーションデバイスが Microsoft Teams をネイティブサポート

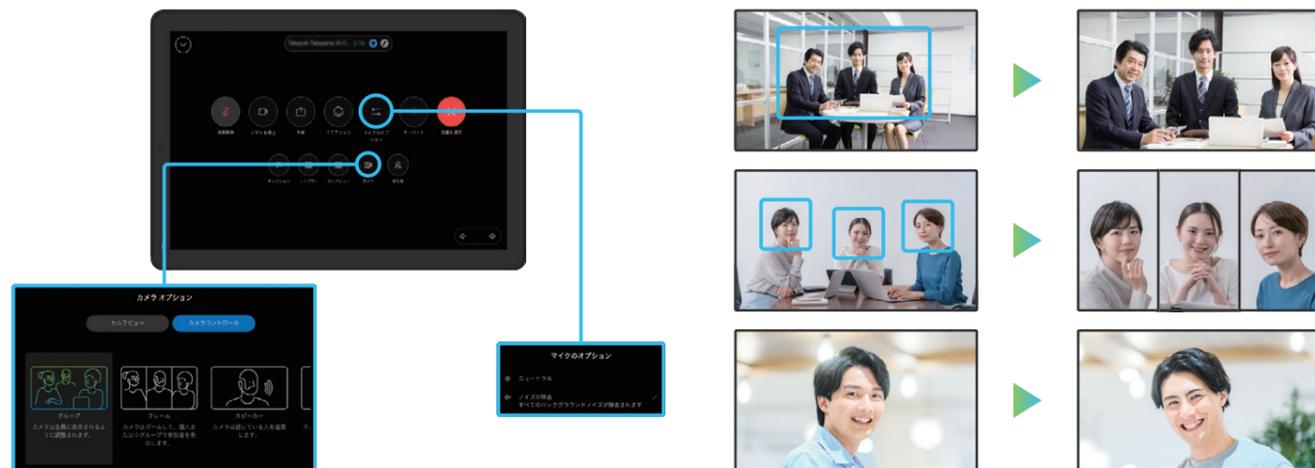
シスコとマイクロソフトのパートナーシップによって、シスコのコラボレーションデバイスを Microsoft Teams 認定デバイスとして導入できるようになりました。20 年以上にわたって世界のビデオ会議市場をリードしてきた実績と信頼の結晶であるコラボレーションデバイスが、Microsoft Teams に最適化されたプラットフォームとして、その性能を遺憾なく発揮します。

Microsoft Teams 認定コラボレーションデバイスでは、初期設定画面でモード選択が可能。従来の Cisco RoomOS に加えて Microsoft Teams Rooms (MTR) モードで稼働します。おなじみのコラボレーションデバイスが続々と Microsoft Teams をネイティブでサポートする予定です。



## AI を駆使した映像と音声で臨場感あふれる Teams 会議を実現

MTR モードの Teams 会議では、RoomOS モードの Webex 会議と同等の AI を駆使した機能をサポート。AI による顔認識機能や発話者認識機能と連動した自動フレーミングやカメラワーク、AI による自動ノイズ除去機能など、コラボレーションデバイスならではの臨場感あふれる Teams 会議を実現します。

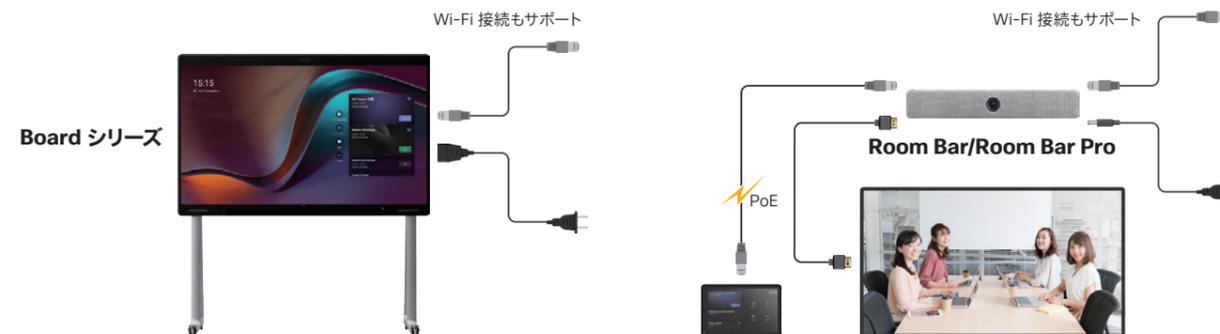


カメラとマイクの設定画面 (Room シリーズ)  
自動フレーミング、自動ノイズ除去など、AI を駆使した機能を利用可能

AI による顔認識機能や発話者認識機能と連動した自動フレーミング  
グループモード (上)、フレームモード (中)、スピーカーモード (下)

## かんたん設置、すっきり配線

ディスプレイにカメラ、マイク、スピーカーを内蔵したオールインワンモデルの Cisco Board シリーズ、既存のディスプレイにカメラ、マイク、スピーカーをまとめて追加できる一体型モデル Cisco Room Bar および Cisco Room Bar Pro なら、ネットワークや電源などへの必要最小限の接続で簡単かつ迅速に導入できます。



## Control Hub にも登録すれば、フル機能の Webex 会議や高度な運用管理機能を利用可能

MTR モードで稼働するコラボレーションデバイスは、Microsoft Teams 管理センターだけでなくシスコの Control Hub にも登録可能。この「デュアル登録」によってフル機能の Webex 会議を利用できるだけでなく、Teams 管理センターにはない高度な運用管理機能も利用できます。

- 設定テンプレートで複数のコラボレーションデバイスを一括設定
- コラボレーションデバイスの使用状況を分析
- 会議室などワークスペースの使用状況や環境を分析
- Teams の予定表からフル機能の Webex 会議にワンボタン参加
- クラウド API 連携



## セキュアな RoomOS で Microsoft Teams Rooms アプリを実行

MTR モードは、コラボレーションデバイスのデフォルト OS である RoomOS 上の安全に隔離された Android コンテナ内で Microsoft Teams Rooms アプリを実行することで実現します。リアルタイムなコラボレーションとセキュリティを念頭に開発された RoomOS でネットワークトラフィックを処理するため、Android のネットワーク要件やセキュリティ要件を考慮する必要がありません。また、Android コンテナのアップデートは RoomOS のアップデートに含まれます。





Cisco コラボレーションデバイス

[www.webex.com/ja/collaboration-devices.html](http://www.webex.com/ja/collaboration-devices.html)



## シスコ お問い合わせ窓口



自社導入をご検討されているお客様へのお問い合わせ窓口です。

製品に関して | サービスに関して | 各種キャンペーンに関して | お見積依頼 | 一般的なご質問

### お問い合わせ先

お電話での問い合わせ

平日 9:00 - 17:00

0120-092-255

お問い合わせウェブフォーム

[use.webex.com/ja-webex-dg](http://use.webex.com/ja-webex-dg)



©2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco ロゴ、Webex by Cisco、および Webex は、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における商標登録または商標です。本資料またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(2106R)

この資料の記載内容は 2024 年 4 月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

[webex.com/ja](http://webex.com/ja)

webex by cisco